

**【竹富町教育委員会】**  
一人一台端末の利活用に係る計画

## 1. はじめに

本町では、GIGA スクール構想の実現により、一人一台端末が児童生徒に配備され、学習環境が大きく変化した。端末の活用は、児童生徒の学習意欲を高め、深い学びを促す可能性を秘めている。本計画では、端末の利活用を推進することで、児童生徒の学びをより豊かにし、本町の教育全体の質の向上を目指します。

## 2. 現状分析

### ①端末の活用状況

授業での一人一台端末の活用が進み、Google の講師による研修会により、授業を進める教師の ICT スキルも全体的に向上してきている。

### ②指導の状況

端末の基本的な操作についての指導は、小学校低学年でほぼ習得させることができ、学習での活用もスムーズに行える児童生徒が多いが、情報モラル教育や、「学習に利用するための端末」という理解、正しい利用方法についての指導は継続的に行う必要がある。

### ③家庭での利用

長期休みや休日については、ほとんどの学校が持ち帰っての学習に活用しており、一部の学校では、状況に応じて持ち帰りさせ、家庭学習への端末の活用が進んでいる。

### ④個別学習への活用

不登校の児童生徒に対するオンライン授業の実施など、個別の学習状況に応じた活用も始まっている。

### ⑤課題

児童生徒に対し、端末の利用が目的化してしまう授業も見受けられる。教師の授業力向上、低学年児童からの発達段階に応じた適切な活用、デジタル教科書の効果的な活用などがある。

## 3. 目標

### 児童生徒

- ・ 端末を学習のツールとして使いこなし、主体的に学習に取り組む。
- ・ 情報モラルを理解し、安全にインターネットを利用する。
- ・ コミュニケーション能力や問題解決能力を高める。

### 教員

- ・ 端末を効果的に活用した授業を展開できる。

- ・児童生徒の学びを支援する指導力向上を図る。

#### 4. 推進方策

##### 授業での活用

- ・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の各段階において、授業のめあて、単元のめあての達成に向け、端末を効果的に活用する。
- ・情報モラル教育を、年間を通して実施し、児童生徒の意識を高める。
- ・端末を単なる道具ではなく、学習の主体となるツールとして捉え、児童生徒が主体的に学習に取り組める環境を整える。

##### 教員研修の実施

- ・端末の活用に関する研修を定期的実施し、教員のスキルアップを図る。
- ・成功事例や課題を共有し、教員間の連携を深める。

##### 家庭との連携

- ・家庭学習の支援ツールとして、安全に効果的に端末を活用するための周知を図る。
- ・不登校の児童生徒に対して、端末を活用したオンライン授業の推進を図る。